

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

栗東市立治田保育園

【共通評価項目】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報紙、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	本園設立時に作成した理念・基本方針・目指す子どもの姿を朝礼時に唱和し、園だよりには毎月トップページに掲載してきている。昨年度初めに保育指針改定に伴い、栗東市保育研究会が中心となって、「すくすく育つりっとう子保育教育全体計画」を作成し基本理念【子どもの最善の利益を守り、生きる力の基礎を培う・めざす子ども像】3か条を発表した。入園のしおりにも記載し保護者への説明を行った。園だより4月号以降トップページには、従来の保育目標を掲示している。できれば新しい理念、目指す子ども像を知事する機会を多くし、周知に努めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	栗東市担当部門と園長会・主任会の協力により、保育部門の状況を把握し分析している。現場の保育園では月末統計及び園長会・主任会での情報交換を行い分析を行い、幼児課に報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。	
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	前月の分析結果を職員会議で周知し、保護者役員会を毎月開催して、意見交換・希望・要望など聴取し、現実の課題解決に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	栗東市では保護者代表、学識経験者、園長会代表による市民参加で「栗東市子ども子育て会議」を開催し平成27年3月に子育て支援5か年計画を策定し、平成30年3月に中間年見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	当園は長期計画から個別具体的な単年度計画に落とし込み、平成31年・令和元年度保育園経営管理計画を策定している。そこでは園評価を行い、課題を明記し、今年度の園経営の力点として3項目に絞って明記している。		<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
		<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	9月に入ると職員会議で各活動の見直しの指示が出て9月末にはそれぞれの反省と下半期或いは次年度に向けての計画をまとめている。全職員から昨年12月中旬までに30年度の反省と次年度の方向性についてレポートの提出を求め、12/26の職員会議でその総括を行い、職員の共通認識の基、次年度計画策定に入っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
	園長のリーダーシップにより、見直しが見事に行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	行事計画は保護者総会で、事業計画の詳細は毎月の保護者役員会、園だより、クラスだより、連絡簿、掲示板を活用して周知に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	園長をリーダーとして指導計画の反省・評価、関係者の協力で修正し成果を実現するPDCAを実践している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
	第三者評価調査も毎年受審し、評価結果を皆で検討し課題を明確にし共通認識を持って解決に臨んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	課題把握からそれを共有し計画を立て見直しをし、計画の実行が実現する様、職員会議や保護者役員会の全面協力を得る体制を作っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	職務分掌表で表示の通り、園長は、園活動の全てを統括する役割を年度当初の職員会で表明し、全職員に協力を呼び掛けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
	非常時については、非常災害対策計画で指示系統、役割分担等明記しているが、不在時対応に関する文書化は見られない。		<input type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	園長研修を積極的に受講し、園長会での情報交換を行う中で参考となる事項など、機会を見つけて職員に伝達している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
園長自身の研修はもとより、職員の研修についても熱心に取り組むよう支援している。保護者役員会との意見交換、アンケート結果の評価についても職員会議で共通認識をもって進もうとしている。保育内容については、見直し(評価)次のステップは何かを皆で考えて方針決定している。現場を園長も熟知することが必要と保育現場をまわっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取組んでいる。
常に主任、リーダーとはコミュニケーションを取った上で、職員全員に向けて見直しとその方向性を指示している。その原点として、自分で見ていないことについては話し合えないと考えて、責任をもって自分で確認することを堅持している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
当分野は公立保育園故、幼児課の担当で進められている。園側としては、要望を述べたうえで配置された職員の適正配置に全力を挙げている。全職員も関係者や友人を通じて、保育士を呼び込む努力をしているが、具体的な計画作成は困難な状況である。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
栗東市人事評価制度に基づき、目標マネージメントシート1(スタート時の目標設定) & 2(中間点のチェックと改善点確認)、年度末には到達点と反省点について、以上3回の園長面接を実施し、人事管理を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
職員の就業状況を月間ごとに集計し勤務内容、休日取得等から必要な職員には個別面談をおこなっている。職員の個人事情をくみ取り活かすように努めている。中でも身体、健康面の事情には最優先して配慮している。カ、キ、クについては、園側だけでは取り組めない項目なので、幼児課には常に情報提供するように努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	2019.3.発表の保育教育全体計画の17.保育者の資質向上1.で保育者の必要な資質として「期待する職員像」(1)～(5)を明示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
	人事評価制度の中で目標マネジメントマニュアルに従い①目標設定②中間点検③どこまで達成したかを各ステージで園長と面談し確認している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	保育教育全体計画の中で「期待する職員像」を明確に示している。年間の研究課題を決め、特に子どもにとって居心地の良い場づくりを目指している。園内研修計画では職員研修と並び特別支援教育研修を毎月計画し年度末には見直しと次年度計画策定に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	園内研修に加えて園外研修では階層別の研修が組まれて実施されている。先輩職員は新入保育士に対してなるべくペアを決め合せてOJT中心に協力体制を組んでいる。職員が研修受講可能となる様、園内体制を整備し配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるように配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	大学或いは学生から直接実習の申し込みがあり、栗東市宛て正式申込書を渡し提出されて、初めて受け入れの話合いが始まり、年間1～3名の実習生を受け入れている。		<input type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
	プログラムについては多くは各学校の方で組まれたプログラムで進められているのが実状である。マニュアルはもう少しレベルアップし園独自の良さを盛り込んだプログラム導入を期待している。		<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	栗東市のホームページや園だよりなどは関係機関にも配布している。「栗東市子育て支援ガイド」冊子を作成し、希望者には配布している。そろそろ園独自のホームページ開設も検討開始して欲しい。第三者評価調査を受審し、結果報告書は滋賀県ホームページに掲載されている。地域の広報誌に、未就園児事業や園児作品展示会などの案内記事を掲載してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	栗東市財務会計事務の手引きに従い、事務処理を行っている。その合計は、栗東市の決算書となり、最終は栗東市議会の承認を得ている。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
民生児童委員会が毎月開催され、園長が出席し園活動の報告と参加要請など行っている。情報交換の中で地域活動への参加も可能となり連携体制を取っている。 気になる園児・保護者には、その固有のケースに応じて、地域の社会資源活用をお勧めしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
ボランティア受け入れのマニュアル等は作成していない。中学生のチャレンジウィーク受け入れを行っている。 園庭樹木の剪定や子ども達がプランターで野菜作りをする際には指導をして頂いている。 栗東市全体に通ずるボランティアマニュアルを作成し、地域資源の協力をさらに得られやすい様検討を期待したい。			<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
		II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
職員室掲示板にA3用紙で関係機関・団体の一覧表を作り、担当部門に電話もすぐ連絡できるよう整備し、園児・保護者のケースに応じて関係機関とは連携を図り対応を進めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
幼稚園と協力し合って、地域の未就園児と保護者が当園あるいは近くの幼稚園で交流を行う「にこにこひろば」を年間4回開催している。災害時の避難場所と指定されているが、備蓄品はすべて園児用のもので1日分と限定しているが、おやつ用の菓子類は若干の余裕がある。非常事態が発生した場合、この対応でOKなのであろうか、検討機会を持ってほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
月1回開催される民生児童委員会には園長が出席し、情報交換をしており、依頼されて「子育てについて」「3歳児入園の前に」などの講演をしたり、児童館の要請依頼で「乳児に向けて」などのお話をしている。保育園入園希望の保護者の来訪も多く、説明に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<p>ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p>イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。</p> <p>ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。</p> <p>エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。</p> <p>オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価を行い、必要な対応を図っている。</p> <p>カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)</p> <p>キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)</p> <p>ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)</p>
判断した理由・特記事項等			
滋賀県人権保育研究協議会「しなやかな心とからだづくり」をテーマに治田保育園が幹事となり、人権啓発活動に職員と共にとりくんだ。			
栗東中学区人権教育地域ネット協議会にて年1回治田学区のテーマを決め取り組んでいる。			
園内研修として人権・同和問題職場研修を1回/月開催している。計画と実績報告として、計画兼実績報告書を市に提出している。			
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<p>ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。</p> <p>エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。</p> <p>オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。</p> <p>カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。</p> <p>キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。</p>
判断した理由・特記事項等			
栗東市人権擁護計画（改訂）の中で「こどもに関する人権」記載している（第2章基本施策の推進 4-3 こども）。人権・同和問題職場研修や定例職場研修で人権研修を行なっている。			
危機管理マニュアルで虐待防止と発生時の対応を示している。			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<p>ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。</p> <p>イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。</p> <p>ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。</p> <p>エ 見学等の希望に対応している。</p> <p>オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。</p>
判断した理由・特記事項等			
HP・栗東市子育て支援ガイドで紹介している。			
見学は随時受け付けている。			
0, 1, 2歳児に対してはほぼ毎月問い合わせがあり情報提供を行なっている。			
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<p>ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。</p> <p>イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。</p> <p>ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。</p> <p>エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。</p> <p>オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。</p>
判断した理由・特記事項等			
一日入園、入園説明会を開催し、「入園のしおり」を配布し園生活を伝えている。			
特別支援が必要な園児には、個別支援計画のルールを示している。			
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<p>ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。</p> <p>イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。</p> <p>ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。</p>
判断した理由・特記事項等			
保育所間は規程の書面で引き継いでいる。小学校入学にあたり、全員、保育指導要録と連絡会で引き継いでいる。			

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
33	① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	保護者の個別面談は随時受け付けている。 保護者へのアンケートを集約した「平成30年度園評価の結果について」公表し、反省と次年度にむけた取組を述べている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	5月園だよりにて、園受付担当者と第三者委員「相談窓口」として民生委員の氏名を知らせている。苦情処理の仕組みを説明した掲示板を玄関入り口の廊下に設置している。専用用紙にて、受付等処理完了まで記録に残るようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	5月の園だよりで、苦情申込窓口については記述している。面談ができる個別の部屋を確保している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	必要により、職員会議、クラス別会議にて検討している。保護者のアンケート「園評価について」にまとめ、今後の取組みを記している。しかし保護者アンケートQ6「保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」・「園便り」・「個別面談」を通して説明があるか」との問いに対して、保護者の満足度は48%と肯定率が低く、保護者に受け入れられる対応になる様PDCAを回して、改善策を実行して行って欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	「保育園・幼稚園・幼児園における事故防止及び事故発生時の対応マニュアル」を園長部会で作成している。保育園施設設備巡回修復記録にて2回/月点検と指摘事項の改善を行ない、園長まで回覧となっている。ヒヤリハット4月2件・5月2件大きな事故に繋がる事案である。以降の報告がないが、ヒヤリハットの組織的取り組みは行われていない。ウ、エ、カの組織的取り組みを速やかに実現してほしい。		<input type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	園組織図で担当者を定めている。保健業務マニュアル(2019年4月改訂)があり、そのなかで感染症予防と対策が示されている。看護師が中心となって、現場をリードし体制整備を行い、園内研修の場で職員に周知し、保護者にはボードに最新情報を記入し提供し予防や安全確保に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決まっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	非常災害対策計画を策定している。毎月1回各種避難訓練を実施している。備蓄は乳児用は「おかゆ」を幼児用「カレー」を園児一人あたり一食を備蓄している。非常事態発生した場合に、これで良いのかどうか、検討を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	☑	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
毎月開催している栗東市保育研修部会（園長会・主任会）で検討して各年齢別マニュアル・職務基準書・職務勤務マニュアルを作成している。			☑	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
公立保育園・幼稚園・幼児園共通で使用している。4月年度初め全職員で読み合わせている。			☑	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
日々の保育日誌は、園長、主任が確認している。			☑	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	☑	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
基準書、各種マニュアル類は、作成されているがそれぞれ冊子となっているため、相当部分は初版とみられる。理想的にはルーズリーフ式にして、差し替え方式で 保育所保育指針改定に準じて見直し、改定が望まれる。			☑	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			☑	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	☑	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
指導計画・個別指導計画は定められた書式で、詳細な内容のアセスメントを実施、年間計画・月案・週案・日案で反省、評価しながら次の計画を策定している。			☑	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
計画実施に当たっては、常にPDCAサイクルを回している。			☑	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
保育の方向性や保護者のニーズ等、クラス担任間で話し合い計画に組み込んでいる。			☑	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
気になる子供について、必要時園長・主任に報告し、対応を相談する事もしている。又、関係機関（発達支援室、市幼児課、たんぼぼ教室等）の参加や家族も交えて合議し計画を策定している。			☑	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			☑	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			☑	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	☑	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
指導計画については、未満児は個別指導計画書で、以上児については月案・週案にて常に見直しを行っている。			☑	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			☑	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	☑	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
統一書式で個々に児童票にて記録し管理している。			☑	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
日々の記録は保育日誌に記録し、記録の様式については主任会で協議見直し検討を図っている。			☑	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
情報共有は、朝礼、職員会議、クラス担任間、職員室に置いている連絡帳等様々な方法で全職員への共有を図っているが、確実とは言えない。			☑	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	☑	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
栗東市保育所管理規程で帳簿の管理規程を定めている（帳簿名と保存期間）。			☑	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
コンプライアンス研修・接遇研修等の研修で公務員倫理の理解と意義を高めている。			☑	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
危機管理マニュアルで個人情報の対処対応方法を示している。			☑	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
管理責任者は園長で鍵の付いた書庫に保管している。			☑	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

栗東市立治田保育園

【内容評価項目】

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	保育指針改定に伴い昨年、「すくすく育つりっとう子保育教育全体計画」を作成、それを基に、保育理念、方針、子どもの発達過程、地域の実態等を考慮した計画を職員参画のもと立てている。 年度末に治田保育園総括として評価し、年度初めに見直している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	年齢毎に遊びや生活空間と動線を考え、棚等の配置を必要時に見直し、子どもが安全に過ごせる環境としている。 築65年で老朽化が進んでいて床の痛んでいる所も散見されるが、順次改修している。 2歳児前の手洗い場・トイレは昨年改修され、トイレトレーニングがし易く、保護者からも好評である。 何処も清掃が行き届き、雑巾も綺麗に干され清潔感がある。 トイレ前の廊下でおもらしをした際の着脱時、衝立で見えない様、プライバシーへの配慮がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	食事中、子どもがお碗を保育士に差し出す。「○○ちゃん、どうしたいの？スープのお代りしたいの？」「うん、うん」とうなずく。「言葉で言おうか。スープのお代りくださいって」「スープのお代り欲しい」ゆっくりと自分の思いを言葉で表現できるまで待っている。 室内から走りながら出て行く子に「○○ちゃん、走らない」と大声が聞こえてきた。危険なので、止めようとしている事は理解出来るが、もう少しの工夫を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかさ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	自主的に動ける配慮として、個人のロッカーや下駄箱にマークを貼っている。 「○○ちゃん、トイレに行こうか」の声掛けに、1歳児でも自分の靴から、パンツ等を出し、ベンチにタオルを敷いている。 食後の口ゆすぎを促す時、1歳児に「お口のばい菌さん くちゅくちゅで追い出そうか」分かり易い言葉で伝えていた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	2歳児クラスを前期は2クラスにグループ分けし、少人数で活動する事で担任も発達過程が把握しやすく、後期を3歳児移行の準備として1クラスに合体変更している。 園庭や遊戯室で十分に体を動かす環境である。日々の子どもの発達の様子を伝え合い、今、何に興味があるか、何が必要か担任間で話し合い、環境を整え遊びの場を広げる工夫をしている。 子ども同士の遊びの中で、言葉が十分で無い所を仲立ちしている。 毎月、テーマを決めて交通教室を開催しルールの習得に努めている。 今後公共機関等の利用を期待したい。園庭にプランターを置き、夏野菜を育てたり、地域の方の畑で、地域の方と一緒に収穫する事もある。 地域のふれあい祭りに、5歳児が参加したり、園の行事、運動会・生活発表会に地域の方の来園がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かす事が出来るよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	2歳まで保育担当制となっていて、愛着関係は十分に築けている。手づかみで懸命に食べながら「アーイ」と体を前のめりにして、保育士に催促。「美味しいねー」「ウマウマ」と体が弾んでいる。室内は清潔と安全を第一と考えている。連絡帳で自宅の様子、園での様子を伝え合う事で情報を共有し、生活習慣や遊びの幅を広げる工夫をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	2歳になると言葉で伝える、友達にも優しくする事が増えてくるが、言葉で伝えるに子には保育士が声掛け方法等、個々に合わせた対応をしている。生活習慣の中でもトイレトレーニングは個人差が大きく、保護者と連携を取りながら進めているが、更なる連携のもと柔軟な対応を期待します。自宅で出来た事、園で出来た事等連絡帳や口頭で伝えあい、喜びを共有し保護者への励ましとなっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	発達の状態に応じて運動会等の行事を行い、保護者にも取り組みを伝えている。異年齢交流にて共に成長出来るよう環境を整えている。地域に向けての情報公開の取り組みについて工夫を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	園庭からテラス、教室の入り口等スロープ設置しているが充分ではない。支援員に加配担当の保育士がついて、園内委員会で定期的に話し合う機会を設けている。保護者の要望を受けて個別指導計画を作成し関係機関とも連携を図って情報を共有し保育に努めているが、クラス指導計画に位置づけている所は見られない。保護者とは日々の声掛け、個別懇談会を通して思いや、不安を聞き取り支援を行い専門機関とも連携を図っている。園内委員会の保育士は特別支援教育研修を受け知識や情報を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	16時から長時間保育となり17時までは各クラスで保育、17時から異年齢保育で未満児と以上児に分かれて過ごし、18時に全員が0歳児～1歳児の保育室に集合となり、18時25分から職員室に移動して迎えを待つ。異年齢児が天気の良い日は園庭で遊んだり、保育室でゲームを楽しんだり自由に過ごしている。保育士間の引き継ぎは、早朝・薄暮保育の連絡帳で行っている。連絡事項を聞いた人・伝えた人が同じ枠内で1名記名のみで誰が聞き・伝えたか分かりづらく無記名の箇所もある。保育士間、保護者に正確に引き継がれるよう工夫を期待する。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	保幼小交流があり、保幼小連絡協議会を行い研修にも参加して職員の連携を図っている。 小学校の校長が5歳児の保護者に「園との違いがあり、生活のリズムをつけてもらいたい」等話す機会を設けて就学に向けての取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに係る職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	保健業務マニュアルを基に年間の保健計画を作成している。 常駐の看護師が毎朝クラスを巡回して子どもの様子を観察、保育士から子どもの不調を聞いたり、怪我の処置を行う等日々の健康管理を行っている。 保護者に対して園だより・保健だよりを毎月配布して、健康に関する取り組み、感染症状況等情報を提供している。 睡眠時にはSIDSチェックを行い、保護者には入園時SIDS防止の取り組みについて文書、口頭で伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断結果は児童票に記録しているが、異常が見つかった子どものみ保護者に報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	主治医の指示のもと、緊急時マニュアルも備えており、内服に関しては「預かりチェック表」を看護師と担任で二重チェックを行っている。 食物アレルギーに対しては、市の給食センター献立（卵等除去した）で対応している。 給食センターで対応出来ない小麦粉・イカ等使用時には、調理師が園内調理場で調理し、除去食提供マニュアルで対応し誤食のないように取り組んでいる。		<input type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食事の時間になると、テーブルを近づけ各自ナフキンの上にコップ・箸・スプーンを置き準備をしている。 保育士が個々に合わせて量を加減し、当番がそれぞれに配膳している。 声をかけ合いながら楽しく食べ、おかわりは自由で好きな物を食べられる分だけ各自でよそってくる。 食育として栽培・収穫した野菜でクッキングを行い、自分たちで育てていくことで、食材への感謝の気持ちを育み、調理の喜びやみんなで一緒に食べることを楽しんでいる。 廊下に、成長過程に応じた献立や、子どもたちの食べている様子の写真を掲示して保護者に知らせている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	市の給食センター対応で、七夕等の行事食もあり地域で採れた食材を使用している。 調理員が食事時クラスを訪問して、子どもたちの食べる様子を見たり声掛けしている。 市の栄養士が見えた時、情報を提供し今後の献立、調理に生かすよう連携を図っている。 おやつが園での手作りの時もあるが市販品も多く見られるため工夫を望む。 厨房の衛生管理は、給食日常点検表を用いて毎日チェックを行い園長の確認印がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

第三者評価調査結果報告表（保育所版）

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	未満児は毎日連絡帳で、以上児はのびっこ（連絡帳）で必要時情報交換しているが、送迎時等日々の声掛けで園での姿、家庭での様子を聞いてコミュニケーションを図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	送迎時はテラスに出て、話し掛けやすい雰囲気作りに心がけて信頼関係を築いている。保護者の状況を察し相談を受け「保護者が安定すると、子どもも安定する」との思いで保護者への支援を行っている。 しかし共通評価項目36でも記入したが保護者アンケートQ6「保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」・「園だよ」や「個別面談」等を通じて説明があるか」との問いに対し、肯定率49%という回答が出ており、支援内容の見直しをして対応して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待等権利侵害に関するマニュアルに基づいて、疑いを感じた時はその都度職員間で確認、関係機関と連携情報を共有している。 不安を抱えている保護者の援助を行い、虐待の予防に努めている。 園内・外の研修にも参加して職員間で虐待時の早期発見、早期対応に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組み過程に配慮している。
	月案や週日案の記録を通して自らの保育実践の振り返りを行っている。 園内研修を定期的に行い、お互いの学び合いや意識の向上につなげている。 公開保育も行い、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。